

## 2015年3月期 第1四半期決算説明会Q&A

### 【2015年3月期Q1実績】

**Q: Q1の受注が前年同期比で大幅に減少しているが、主な要因はなにか？**

**A:** 計測事業では北米を中心とした基地局建設・保守用の投資に一巡感が見られたこと、産業機械事業では国内市場でのお客さまの投資が期待通りに進まなかったことによる。

**Q: 連結地域別売上実績において、アジアでの業績が好調なようだが、TD-LTE用途のモバイル製造分野の売上が出てきているのか？**

**A:** アジア市場、特に中国においてはTD-LTEの開発用途の需要が好調に推移している。このトレンドはしばらく続くと考えている一方、製造用途については下期でのビジネス拡大を期待している。

**Q: 産業機械事業が前年同期比で赤字幅が拡大しているが、なにが要因なのか？**

**A:** 研究開発費など、費用面は計画通りだったが、売上が計画より下回ったことにより赤字幅が拡大した。国内での引き合いは堅調であり、Q2以降で挽回していく。

### 【2015年3月期見通し】

**Q: Q1実績の計測事業の売上進捗は通期計画に対して22%となっているが、上期と下期の売上比率はどのようなイメージを想定しているのか？**

**A:** 今年度は昨年と同様に下期にビジネスチャンスが多くあると見ており、売上は下期寄りのイメージを想定している。

**Q: 売上に関して下期寄りとのことだが、何が売上を牽引するのか？**

**A:** モバイル開発分野において、キャリア・アグリゲーションなど、LTE-Advancedの技術進展に伴う投資が上期より多く期待できる。また、TD-LTE端末製造市場での計測需要にも期待している。